

1 次試験 専門科目

(21.建築学・図形科学)

(注意) 解答は、設問 (ローマ数字の I、II、III……) ごとに別の解答用紙を用いること。

全3枚のうち1枚目

問題用紙は3枚である。試験問題は合計5問、そのうち3問に答えなさい。

解答注記：解答用紙3枚。下書き用紙1枚。解答は1問 (I, II などが単位) につき解答用紙1枚 (表裏) に収めること。解答用紙右肩の「解答問題」の欄には、I, II のように選択した問題番号を記入しなさい。解答は明示の上、裏面に続けてよい。

- I 都市計画法の公布以来現在に至るまでの法改正において、法が規定する都市計画決定過程において市民の役割はどのように規定されてきたかについて、次の小問三つのすべてに答えなさい。
- 法律の公布年はいつか。また、主要な改正時期を答えなさい。最初に公布された法において、都市計画の決定過程と市民の役割はどう規定されたか答えなさい。
 - 戦後の改正において、市民の役割はどのように規定が変更されたか答えなさい。
 - 現在の法律が規定する決定過程の特徴と市民の役割の主要な点を述べなさい。
- II 中国建築の特質として、時代的な様式の変化よりもむしろ歴代を通じて一貫した原則が顕著に認められることが指摘できる。すなわち宮殿・仏寺・道観・儒教・陵墓・祠廟などの類型の相互間に際立った外観・意匠の差異はなく、一見しただけではそれらが何の建物かを判断することが困難なほどである。この点において、神社・仏殿・霊廟・住宅など容易に見分けられる日本建築とは大きな懸隔がある。次の問いに答えなさい。
- こうした差異をもたらした中国建築の文化史的・社会的背景について具体例にそくして、簡潔に説明しなさい。
 - 実際は、同様に見える中国建築の諸類型にも微妙な差異がつけられている。屋根・彩色・構造などの面で、実例をあげて説明しなさい。
- III 日本庭園にかかわる以下の問いに答えなさい。
- 次の語を説明しなさい。
1) 見立て 2) 借景 3) 真行草
 - 上の三つの語に該当する具体例をあげなさい。庭園名称と該当部分を示し、2) については、借景されている対象の名称を示すこと。
 - 上の三語を踏まえて日本庭園の空間的特色について考えるところを述べなさい。

1次試験 専門科目

(21.建築学・図形科学)

(注意) 解答は、設問(ローマ数字のⅠ、Ⅱ、Ⅲ……)ごとに別の解答用紙を用いること。

全3枚のうち2枚目

Ⅳ ヨーロッパにおける近代建築の歴史について論じた次の文章を読んで、以下の問に答えなさい。

(出典:スピロ・コストフ『建築全史—背景と意味』鈴木博之監訳, 住まいの図書館, 1990年)

- a) 下線①, ②, ③の建築家, それぞれの代表作を1つ以上あげ, 建築的特徴と建築史的意義について述べなさい。
 - b) 下線④「彼らの努力」とは何を指しているのか説明しなさい。
 - c) 下線⑤「それぞれの国ごとの流行」の例を2箇所あげ, その名称と内容を簡潔に説明しなさい。
- Ⅴ 透視図法の原理を示す次ページの図について、図中の記号とその日本語名称を用いて、次の問いに答えなさい。
- a) 直線aの透視図の作図方法について述べなさい。
 - b) 点Pの透視図の作図方法について述べなさい。
 - c) 平面εの透視図の作図方法について述べなさい。

1次試験 専門科目

(21.建築学・図形科学)

(注意) 解答は、設問(ローマ数字のI、II、III……)ごとに別の解答用紙を用いること。

全3枚のうち3枚目

設問Vの図

